

鳥取県保健事業団健診受診者における血清尿酸値の検討～職業別にみた傾向～

公益財団法人 鳥取県保健事業団 ○梶川貴子 村上久美子 岸田夏澄
鳥取赤十字健診センター 塩 宏

I. はじめに

高尿酸血症は、動脈硬化を進め、脳血管疾患、虚血性心疾患など発症リスクとなりえる。この高尿酸血症について、職業別にみた研究は少ない。今回は、職業別にみた高尿酸血症の要因について検討したので報告する。

II. 対象および方法

2011年に当事業団で職域健診を受診し、問診項目の職種、血清尿酸値とBody Mass Index(BMI)が揃っている、男性24,774名、女性20,906名、合計45,680名を対象とした。

高尿酸血症は、血清尿酸値7.5mg/dl以上、肥満者は、BMI25.0以上と定義した。

職種別に平均年齢・平均血清尿酸値・高尿酸血症者の割合・平均BMI・肥満者の割合・飲酒者の割合、さらに血清尿酸値正常者と高尿酸血症者の肥満者の割合・飲酒者の割合について検討した。

血清尿酸値の測定は、ウリカーゼ・ペルキシターゼ法を用いた。

III. 結果

(1) 職種別人数割合については、男性では、専門的・技術的作業が約20.1%と最も多く、次いで技能・生産工程作業であった。女性では、一般事務が24.3%と一番多く、運輸・通信、保安職、農林水産業は1%に満たなかった(図1)。

(2) 平均年齢については、男性ではいずれの職種も40～50歳代であるが、最も低い教員・保育士と最も高い管理職との差は約10歳であった。女性では、最も低い保安職30.2歳と最も高い管理職54.6歳との差は約25歳であった。

(3) 平均血清尿酸値については、全ての職種で男性が女性より高かった。男性では、いずれの職種も5.8～6.2mg/dl内にあり、教員6.2mg/dlが最も高かった。女性では、管理職4.6mg/dlが最も高く、その他の職種については、4.2～4.3mg/dlであった。

(4) 高尿酸血症者の割合については、全ての職種で男性が女性より多かった。男性では、教員・保育士14.3%と最も多く、次いで販売・営業13.5%、管理職13.0%であった。女性では、農林水産業1.1%

と最も多く、次いで管理職1.0%であった。その他の職種については、1%に満たなかった(図2)。

(5) 平均BMIについては、男性では教員・保育士24.0が最も高く、次いで保安職、管理職23.9、販売・営業23.6であった。女性では、全ての職種で21～22となっており、管理職22.7が最も高く、一般事務、保安職21.3が最も低かった。

(6) 肥満者の割合については、男性では、教員・保育士、保安職、管理職、販売・営業の順に多く、3割を超えていた。女性では、管理職24.5%、その他20.3%の順に多く、2割を超えるのがこの2職種であった(図3)。

(7) 飲酒者の割合については、男性では、いずれの職種も6割以上で、一般事務、運輸・通信、教員・保育士、管理職、販売・営業、農林水産業は7割を超えていた。女性では、運輸・通信が6割で、その他の職種は5割に満たなかった(図4)。

(8) 血清尿酸値正常者と高尿酸血症者の肥満者の割合については、男性では全ての職種において、高尿酸血症者が血清尿酸値正常者より多かった。運輸・通信、保安職、教員・保育士、販売・営業の高尿酸血症者で5割を超えており、全体でも約48%であった。血清尿酸値正常者は、2～3割であった。女性の高尿酸血症者では、運輸・通信、保安職、管理職0%を除くと、技能・生産工程作業以外は5割を超えていた。血清尿酸値正常者は、1～2割であった(図5)。

(9) 血清尿酸値正常者と高尿酸血症者の飲酒者の割合については、男性では両者とも5割以上となっており、全ての職種において高尿酸血症者の方が多かった。教員・保育士、管理職の高尿酸血

症者は約8割であった。女性では、運輸・通信、保安職、教員・保育士、農林水産業で、血清尿酸値正常者の方が高尿酸血症者より多かった。運輸・通信の血清尿酸値正常者、専門的・技術的作業、サービス業、管理職、販売・営業の高尿酸血症者で、5割以上であった（図6）。

IV. 考察

職種割合については、女性では運輸・通信、保安職、農林水産業が1%に満たしておらず、割合を算出した場合、人数が少なくても高く出る傾向がある。

何れの職種においても男性の方が女性より、平均血清尿酸値は高く、また高尿酸血症者の割合も多かった。

高尿酸血症者の割合は、男性では教員・保育士、販売・営業、管理職が13.0~14.3%、女性では、管理職、農林水産業が1.0%を超えて、多かった。

平均BMIは、男性では教員・保育士、保安職、管理職、販売・営業の順に高く、この4職種は肥満者の割合が3割を超えて高かった。女性では、管理職が最も高く、肥満者の割合も最も多かった。

飲酒の割合は、男性では全ての職種で6割以上となっており、高尿酸血症者の割合が多く、管理職77.7%、教員・保育士74.0%、販売・営業71.1%と上位3位を占めていた。女性では運輸・通信が6割を超えて最も多く、次いで管理職43.3%であった。管理職の高尿酸血症者の割合は、1.0%と農林水産業に次いで多かった。

高尿酸血症者の肥満割合は、男性では運輸・通信、保安職、教員・保育士、販売・営業で5割を超えて高かった。女性では、農林水産業の高尿酸血症者1人が肥満者であり、割合として100%と最も高くなった。教員・保育士、専門的・技術的作業で約6割と高かった。

高尿酸血症者の飲酒割合は、男性では教員・保育士、管理職、販売営業に約8割と多かった。女性では、販売・営業、サービス業に約6割、専門的・技術的作業、管理職、一般事務に約5割と多かった。

男性では、飲酒者の割合、肥満者の割合が高く、教員・保育士、販売営業、管理職、保安職に高尿酸血症者が多く、高尿酸血症者においても飲酒者の割合、肥満者の割合が高いことから、高尿酸血症と飲酒、肥満との関連性が強く示唆された。

女性では、人数が非常に少ない職種があり、全体的に高尿酸血症者も少なかったので比較することが難しいが、高尿酸血症者の割合が多い管理職、農林水産業は、平均年齢が上位2位の職種で、前回研究報告で年齢が上がるにつれて平均血清尿酸値が上がっていたことから、年齢による要因が大きいのではないかと考えられる。

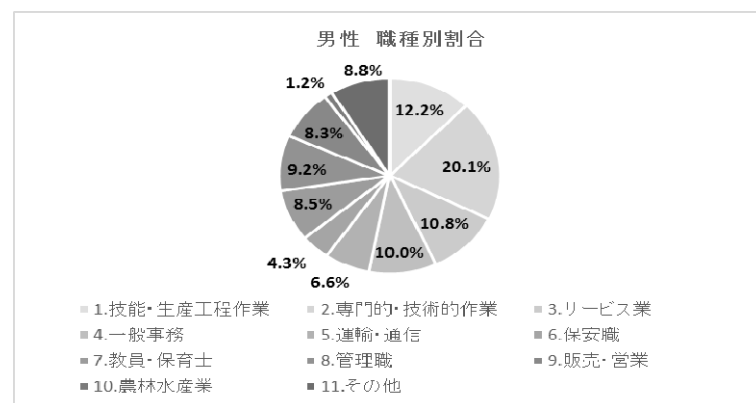
V. まとめ

男性においては、平均年齢の低い教員・保育士で高尿酸血症者の割合が高く、若い世代からの食事や飲酒、運動などの生活習慣の見直しが必要である。

女性においては、女性ホルモンの影響による高尿酸血症を考えながら、肥満や飲酒による血清尿酸値への影響を伝えていく必要があると感じた。

今後、職種による生活習慣や年齢構成などの特徴をとらえた保健指導に役立てていきたい。

図1. 職種別割合



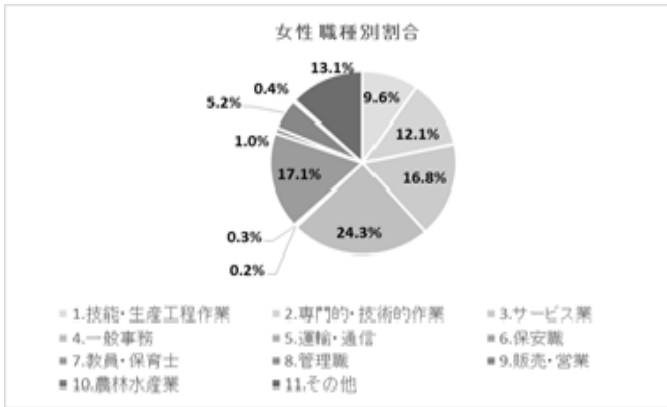


図2. 高尿酸血症者の割合

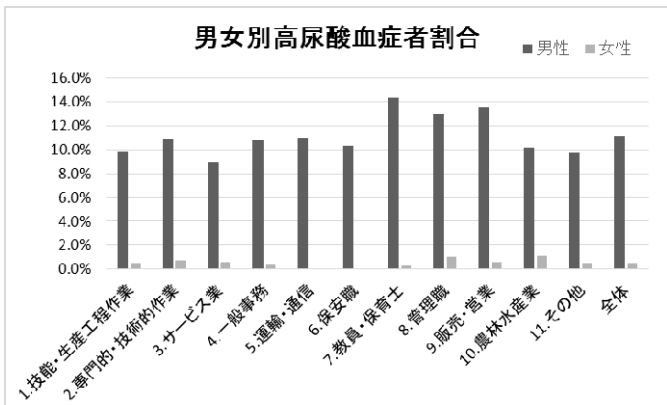


図3. 肥満者の割合

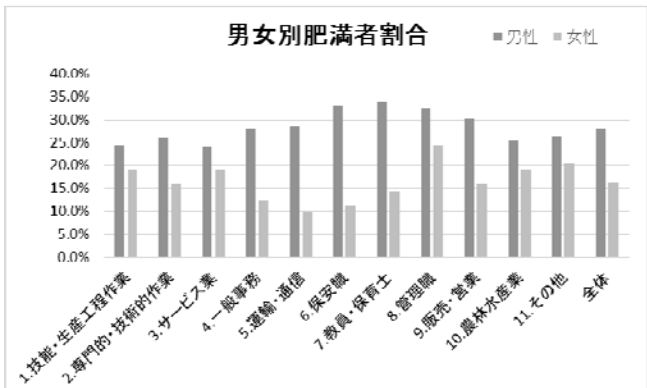


図4. 飲酒者の割合

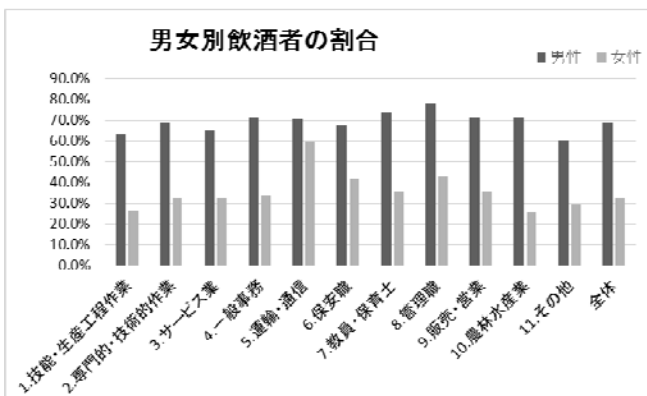


図5. 血清尿酸値正常者と高尿酸血症者の肥満者の割合

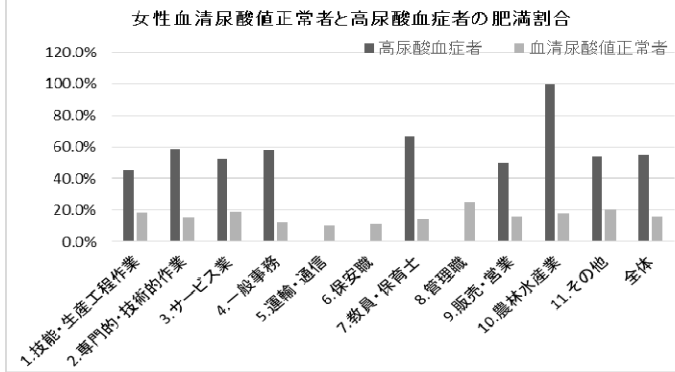
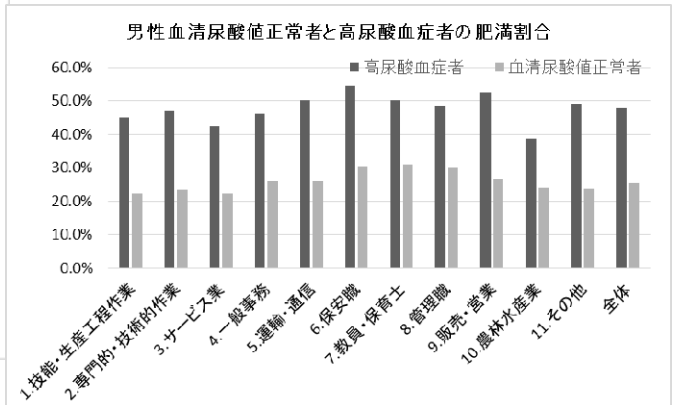


図6. 血清尿酸値正常者と高尿酸血症者の飲酒者の割合

